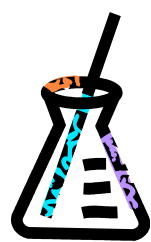
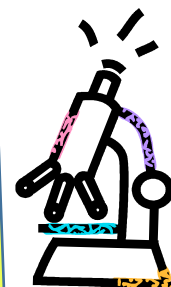


# 夏休み図書館 子ども教室



## 酸とアルカリであそぼう～おふろのシュワちゃんをつくろう！～



### 講座のねらい

科学読物研究会会員の坂口美佳子先生を講師に迎え、20年以上継続して毎年夏休みに開催している講座です。今年は、酸とアルカリの性質を利用した実験や科学に関する本の紹介を通して、子どもたちの科学への興味・関心を深める機会を提供するとともに、図書館資料の利用促進を図ります。

### 講座の様子

ムラサキイモの色水。酸やアルカリを加える前は、鮮やかな紫色をしています。



ムラサキイモの色水に酸性・アルカリ性の液体を加えて、色がカラフルに変化する様子を観察します。



クエン酸（酸）と重曹（アルカリ性）を水に溶かしたらどうなるか予想し、結果を見ながら仕組みを学びます。



クエン酸と重曹を使って、湯や水に入れると二酸化炭素が発砲する入浴剤「シュワちゃん」を作ります。

図書館にある科学の本の紹介。



### 参加者の声

- ・酸やアルカリは、電池や炭酸水や温泉など、身近にあるものだということがわかりました。
- ・色水に酸やアルカリを入れると、あっという間に色がピンクや黄色や緑に変わって、きれいでした！
- ・クエン酸と重曹を水に入れたらたくさん泡が出てきて、ビールみたいでびっくりしました。
- ・紹介された科学実験の本を借りて読みたいと思いました。

### 成果と課題

- ・講義を聴くだけでなく、問いかけや実験を通して、能動的に楽しく科学を体験することができました。
- ・「経験や知識をもとに結果を予測し、結果から物質の性質を考察する」という科学の第一歩を踏み出すことができました。
- ・実験中に紹介された図書館資料を通して、自らの体験を整理し、知識として吸収していく力を養いました。
- ・図書館にある科学の本への関心が高まりました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒・検温の実施し、3密を回避したうえで開催するなどの工夫が必要となりました。今後も、感染対策に配慮しつつ啓発的な体験活動の場を作るよう努めたいと考えます。